

令和3年度採用（大卒行政） 所属：博多税関支署 監視部門

1. 仕事(職場)について教えてください

私は現在、博多税関支署の監視部門に所属しています。仕事内容としては、密輸の阻止やテロ行為の防止を目的とした外国往来船の取締りや受付窓口での申請書類の審査、入国旅客への荷物検査を行っています。特に、入国旅客への検査という部分においては、クルーズ船は1度に数百から数千人の対応をしなければならないので大変だと感じています。

日々、法令の確認をしながら業務を遂行していく毎日ですが、経験豊富な先輩職員の丁寧な指導の下、税関職員としてのみならず社会人としても成長できていると感じています。また、職場の雰囲気も非常によく、同期も複数人いるため困ったことがあれば相談しやすく、働きやすい環境だと思います。



2. 仕事の中で印象に残っていることは何ですか？

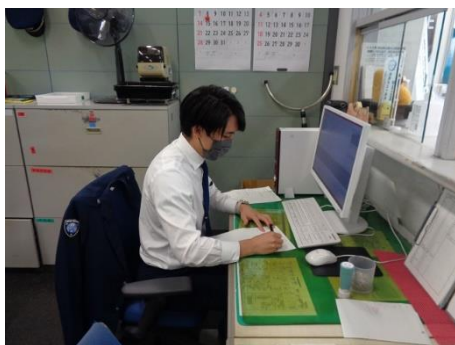
初めて船内検査を実施した時のことは印象に残っています。船内検査では、船員が不正薬物やテロ想起物を所持していないか検査をしますが、外国人の船員だらけの空間に乗り込むので、とても緊張して何も話せなかったことを覚えています。今では、臆することなく船員への質問もできるようになり、成長したなと感じます。

3. 採用研修について教えてください。

例年、一般職大卒程度採用者は約2か月半、千葉県柏市にある税関研修所にて全国の税関の同期と共に税関業務に関する法律知識や社会人としての接遇を学びます。令和3年度研修ではコロナ禍のために、全国の同期が一介して集まることはできませんでしたが、配属後に門司の同期と交流する機会を複数回設けていただき、つながりを深めることができました。このように開催が困難な場合でも、交流の機会を設けていただけるので、これから入関される皆さんも安心してください。

4. 税関の魅力、やりがいは何ですか？

税関の魅力の1つとして、多種多様な業務があるため、自分がやりたいことや長所を生かせる場所を見つけることができると感じます。また、研修制度が充実していて、様々な能力を伸ばす機会がたくさん設けられています。例として、語学研修やExcel研修などがあり、語学能力の習得やパソコン技能の向上を図ることができます。私自身も何度か研修に参加しており、培った能力・知識を実際にそれぞれの職場で生かすことができるのは、やりがいを感じられるポイントだと感じています。



5. 就職活動中のみなさんへメッセージ

門司税関は頼れる、優しい方が多く、安心して働くことができる職場だと感じています。ぜひ、説明会等に足を運んでいただき、生の声を聞き、税関の魅力を感じてみてください。そして、いつか皆さんと一緒に働けることを楽しみに待っています。